

実施計画事業名		学校保健事業		評価対象年度	平成 22 年度				
評価担当部署		教育部 学校教育課		課長(主幹)名	青山 等				
総合計画体系	分野	1	教育・文化						
	政策	2	時代に即した学校教育の推進						
	施策	1	生きる力をはぐくむ教育を充実します						
	関連施策								
現状と課題	学校安全保健法に基づく児童生徒及び職員の健康診断や学校環境衛生検査にあたり、学校医、学校歯科医、学校薬剤師の協力を頂きながら取り組んでいるが、医師の高齢化や医師不足など体制維持が難しくなっている。								
目的	学校における児童生徒及び職員の健康の保持増進や安全の確保を図る。								
5ヶ年開の 施策展開	①児童生徒及び職員の健康の保持増進のため、定期的に健康診断を実施する。 ②児童生徒等の安全確保のため、学校環境衛生基準に基づく学校環境衛生検査を実施するなど適切な環境の維持に努める。								
成果指標	名称		単位			21 年度	22 年度	25 年度	
	健康診断受診率		%		目標	100.0	100.0	100.0	
説明	健康診断受診者数/児童・生徒数(5/1現在)×100				実績	97.7	97.9		
活動指標	名称		単位			21 年度	22 年度	25 年度	
	対象検診科目数(児童・生徒)		種目		目標	8	8	8	
	説明	児童・生徒の健康診査で実施した検診科目				実績	8	8	
					目標	-	-	-	
	説明					実績			
					目標	-	-	-	
	説明					実績			
					目標	-	-	-	
説明					実績				
事業費の実績		単位	21 年度 (決算)	22 年度 (評価年度決算見込)	23 年度 (予算)	備考			
	直接事業費(A)		千円	17,812	17,800	17,358			
	国庫支出金		千円	734	817	910			
	道支出金		千円	0	0				
	起債		千円	0	0				
	その他		千円	1,115	1,082	1,150			
	一般財源		千円	15,963	15,901	15,298			
	この事業にかかる職員数		人/年	0.99	0.46	0.42			
人件費(B)		千円	6,857	3,124	2,852				
計(A+B)		千円	24,669	20,924	20,210				
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化								

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	b a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 児童生徒及び職員の健康の保持増進や安全の確保を図るため、引き続き健康診断や学校環境衛生検査を実施する。

【2次評価】

成 果	b	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総 合 評 価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおり取り進めること。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--